

巻頭 photo

高尾山の生きものたち



(写真・文章)

フォレストサポートスタッフ 大作栄一郎

日本だけに生息！

セグロセキレイ (セキレイ科)

高尾山一帯で見られるセキレイ科には、キセキレイ、ハクセキレイとセグロセキレイ（背黒鶺鴒）があり、主に河川沿いで見られます。

日本特産種で、全長 21 ㍉、翼開長 30 ㍉、白黒のツートンカラーのスマートな野鳥ですが、この鳥と大きさ、体色とともによく似ているのがハクセキレイです。野鳥観察初心の頃は、識別に困難をきたしたことがありました。

写真は、この鳥の飛行を見つけ、止まり木に止まる寸前に撮影しましたが、まさに僥倖(きょうごう)でした！！

今月の一句

「識別に背黒か白か迷ったよ」

二美ちゃん富ちゃんの



キノコ

(担当: 二美ちゃん)

今年も高尾山で様々なキノコに出会えた。モミの大木の周りには、アカモミタケ等が枯木や倒木等にナラタケやクリタケが見られた。

アカモミタケは菌根菌のキノコで、生きた木の根と共生関係を結び、木からは光合成生産物をもらい、菌根菌からは水分、窒素、リン酸、カリウムなどを提供している。菌根菌は、腐朽菌とは違い生きた木の根と共生関係を結ぶため、人工栽培が困難なことからマツタケは高値となっている。



アカモミタケ

クリタケは木材腐朽菌のキノコで、木材を腐らせセルロース等を分解し、栄養を吸収しキノコを発生させる。家庭の食卓に載るのは、多くが木材腐朽菌のキノコで、シイタケやナメコ、マイタケなど、様々なキノコが栽培されている。

菌根菌は、多くの樹木と共生関係を結び樹木の生長を助け、森林形成に寄与している。一方の木材腐朽菌は、地球上が枯木の山にならないよう、木材を無機物にまで分解し、生態系内の物質環境を円滑にしている。

山でキノコを見つけたとき、味覚ばかりでなく、生態系内の菌の働きに想いを馳せるものもいかがでしょうか。



クリタケ

草木染と植物観察

NPO法人 森とでんえん倶楽部

高尾森林ふれあい推進センターのご協力を得て、9月27日にNPO法人森とでんえん倶楽部が、”草木染と植物観察”を日影沢キャンプ場でを行い、都内から10家族、小学生：12名、保護者：13名が参加し、親子で楽しく体験していました。

I 草木染

当日、参加者に持って来てもらったタマネギの皮を使い草木染を行いました。中には昨年から貯めて持って来てくれた家族もいて大変助かりました。

以前はハンカチサイズの布を使っていましたが50cm四方のバンダナサイズを使いました。

先ず、集まったタマネギの皮をネットに入れ、それを寸胴に入れ火にかけ、沸騰してから20分間煮こみました。

この間に、思い思いの模様になる様にバンダナを幾重に折り重ね、それを三角形、正方形、六角形などの木片で挟んだり、ビー玉を輪ゴムで布に止めました。



模様付け木片で挟んだり、ビー玉を使ったり

最初に硫酸第一鉄で染色し、バンダナを挟んでいた板をずらしたりし、止め直しを行った後にミョウバンを使い二度染色をしました。



ミョウバンで二度染め

染色出来たバンダナを広げて見ると、予想とは異なった仕上げになり是も楽しみでした。

生憎当日は時々小雨が降るお天気で、水洗いをした後

に、屋根のある下にロープを張り、乾かしてお持ち帰り頂きました。

染色できたバンダナ、お土産にお持ち帰り



II 植物観察

オナモミ、イノコツチ、アメリカセンダングサ、又スビトハギなど体に付いて移動する種を観察用に用意した、フエルトに引っ付き虫を付けて観察しました。



ひつつき虫など観察

III 火お越し体験

火切板を発火し易い様に、事前に天日に当て良く乾かしました。当日、草木染で火を使ったので、火切板を火の側に置き、再度乾かしました。小雨が時々降り、湿度が高く発火が難しいのですが、保護者の方も頑張りました。高学年の2人が3回発火に成功しました。2回成功した女の子は今まで何度も参加し、火お越し体験を行いましたが、今回初めて成功し、大喜びでした。発火すると他の参加者から拍手を浴びました。

火お越し体験
見事に発火



文章・写真

NPO法人 森とでんえん倶楽部
理事長 横山 信明

森林教室



どもたちは、自分で切った輪切りをお土産に元気に学校へと戻っていきました。(清)

当センターでは、小学校4・5年生の学校教育において、「産業としての森林・林業」や「人々の生活と環境・森林との関係」について、現地で学びたいとの学校からの要請を受け、森林教室を行っています。今回は、10月に実施した森林教室2校をご紹介します。



丸太切りの様子



Ⅱ 相模原市立作の口小

10月9日、初秋の陽気の下、神奈川県相模原市立作の口小学校の5年生93名が、午前には森林の働きについての学習と丸太切り、午後からは「学習の歩道」と大平林道沿いの森林を散策しました。

森林学習では、森林の働きを勉強したり、丸太切りでは、スギの間伐材を薄く切ったり、厚く切ったりしました。また、樹木の生長と仕組について、丸太切りの輪切りや模型等を使って説明したところ、興味を持って聞き入ってくれました。

Ⅰ 八王子市立片倉台小

10月1日、東京都八王子市立片倉台小学校5年生41名の児童が、森林ふれあい館において森林教室を体験しました。

当日は快晴との予報だったものの、いまにも泣き出しそうな空模様となってしまいましたが、バス2台に分乗した子どもたちは「おはようございます。よろしくお願ひします。」と元気な声で訪れてくれました。

開校式の後、空模様を気にしながらスケジュールを変更し森林散策に出発。森林の働きなどについてセンター職員の説明を受けながら初秋の高尾山を勉強しました。



フォレストサポートスタッフの解説を懸命にメモ

午後からは、温暖化に関する講義と森林の機能の講義を受け、児童たちからは「高尾山には何種類の植物がありますか」「森林ふれあい館はどれくらいの木材を使用しているのですか」「高尾山には何本くらいの木が生えているのですか」など、職員が予想もしていなかった質問が次々に飛びだし、全職員が汗だくになって子どもたちにわかりやすく回答しました。講義の後には丸太切りを体験し、のこぎりを使った経験のある子どもたちが多かったためか上手にあつかい、3枚も4枚も輪切りを手にする子どもたちも多く見受けられました。

子どもたちからは、「高尾山の自然を満喫することができた。また高尾山を訪れてみたい。」などの感想を聞くことができました。

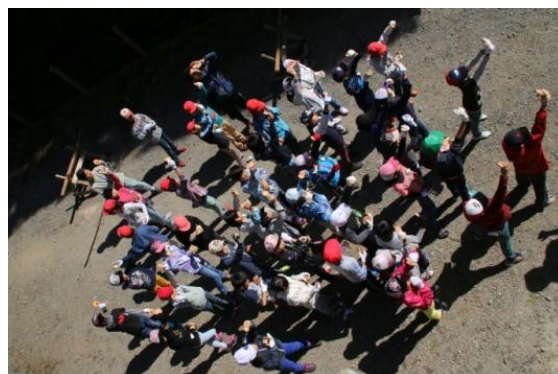
午後から降りだした雨の中、森林について勉強した子



樹木の生長と仕組の解説に興味津々

森林散策では、森林の働きだけでなく、タカオヒゴタイなどの野草の解説にも感心を寄せていました。また散策途中の山彦ポイントでは、子供たちは大声を挙げて「ヤッホー」と叫ぶなど、元気に一日を終えて帰校しました。

後日、学校から「今回の森林教室の体験を踏まえ、今後の総合的学習の中で森林について学び自分たちができることを考えていきたい」と、感謝のお便りが届きました。(き)



みんなが輪切りを太陽にかざし、はいポーズ

イベント情報(参加者募集)

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

(実施主体：森林インストラクター東京会)

不思議な氷の華を鑑賞し、雄大な富士山を展望しながらハイキングを楽しみましょう！

氷の華シモバシラ鑑賞と富士山展望ハイク



日時 平成27年12月25日(金)
(荒天中止の判断は、前日に連絡します。)

集合 京王線高尾山口駅 9時00分

解散 ケーブルカー高尾山口駅 14時30分

募集人員 30名(応募者多数の場合は抽選)

応募締切 平成27年12月11日(金) 必着

参加費 大人1700円
(別途ケーブル代片道480円)

持物等 弁当、飲物、帽子、雨具、防寒着、保険証、軽登山靴など

【申込方法】 往復ハガキ

①イベント名、②参加者全員の郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号(自宅及び携帯電話)、メールアドレス、③このイベントを何で知ったか、④返信面の宛名を記入の上、締切日までに到着するよう下記あてお申込みください。

【申込先】 〒193-0844 八王子市高尾町 2438-1
林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【問合せ先】 森林インストラクター東京会
水木 稔 090-6920-7975 (携帯)

編集後記

Forest 通信を担当していた M さんが10/1で異動になり、担当者が不在に。慣れない一太郎から Word に切り換えて一からの構成と編集作業でした。M さん頑張ってるかな・・・(か)

○高尾森林ふれあい推進センター特別企画イベント

(実施主体：高尾森林ふれあい推進センター)

リース作りを体験してみませんか！解説員がやさしく指導いたします。

リース作り体験教室



日時 平成27年11月30日(月)
～平成27年12月4日(金)の
10時00分～12時00分

場所 高尾森林ふれあい推進センター
クラフト体験室

募集人員 各実施日先着10名様

受付時間 各実施日の10時00分～11時00分まで

参加費 無料

留意事項 ①装飾用の材料はマツブツクリ・ドングリ各10個まで、②リースの大きさは、針金15cm程度、つる20cm程度、③作品は期間を通じ1個まで、④自前の装飾品持込みOK

【申込方法】 当日の先着順

クラフト体験室で記帳申込ください。

【問合せ先】

〒193-0844 八王子市高尾町 2438-1
林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
「リース体験」係
電話 042-663-6689

Forest 通信 No.321

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】

林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

電話 042-663-6689 FAX042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>